

# エリアウェーブ

峡東教育事務所  
地域教育支援スタッフ  
TEL 0553-20-2731  
FAX 0553-20-2733

◎回覧・配付をお願いします。増し刷り配付はご自由にどうぞ。峡東教育事務所のホームページでも掲載中です。

<http://www.pref.yamanashi.jp/barrier/html/kyoiku-hym/index.html>

◎ご意見・ご感想、情報提供はこちらまで。E-mail:maruyama-xdpr@pref.yamanashi.lg.jp

## 義務教育学校とはどんな学校？

峡東教育事務所副所長 望月主税

今年の4月から、新しい校種として「義務教育学校」が誕生したことを知っていますか。現在義務教育は、小学校は6年間で中学校が3年間で行われていますが、新たに公立で9年制の学校が認められたということになります。今年度は、13都道府県15市町村で22校設置されました。また、全国で平成29年度には39校、平成30年には37校が設置される予定です。

山梨県では、公立の小中学校相互の連携を市町村ごとに様々な形で実施しているものの、公立の小中一貫校は存在しません。しかし、小規模の自治体で、小中を一つの学校として設置できる義務教育学校への関心が高まっているという情報もあります。今後山梨県でも、学校統合に関わって設置が検討される可能性はあると思います。

義務教育学校には、中1ギャップの解消や小学校段階での教科担任制の導入など、現在の教育課題解決への手立てとして魅力的な部分も多いですが、同時に、9年間の子ども達を受け入れる施設の問題や、人間関係の固定化などの課題も考えられます。また、安易な学校統合の理由とされる心配もあります。

そこで、百聞は一見に如かずといえますので、今年から義務教育学校となった品川区立の「豊葉の杜学園」をお願いして見学してきました。その報告をしたいと思います。

東急大井町線の「下神明」駅を出ると、もうそこが学園です。義務教育学校としてだけでなく、行政サービスを行う市民センターと保育園・幼稚園が併設された施設です。品川区の小中一貫校でもっとも新しい学校だということで、ガラスを多用した明るい雰囲気の良い学校でした。体育館やプールは、市民にも開放できるようになっています。

豊葉の杜学園は、普通学級29、特別支援学級5の合計34学級で児童生徒数917名です(保育園・幼稚園はふくみません)。職員数は校長1名、副校長3名で講師等をふくめると約100名です。

子ども達は1年～4年、5年～7年、8年～9年の4-3-2のグループができています。5年生から50分授業であることや部活動に参加していること、運動会は1年から4年で行うこと、制服も4年までと5年以降で違うことなど、9年間で4年までの前期と5年以降の後期に分けて考えていることが分かりました。また、学園では、0歳から9年生(15歳)までが同じ施設にいることを最大限に活かそうと様々な取組を行っています。たとえば、1年生に9年生がかかわる活動、6年生が入学生をエスコートして登校する活動の他にも、3年生と5歳児の交流、2年生と保育園児との交流など、異年齢交流を積極的に行っています。大きい子にも小さい子にも、良い影響がでているということでした。特に思春期の生徒達の表情が、小さい子ども達の世話をすることで、とても柔らかくなるそうです。

その他にも目新しいことはたくさんあったわけですが、副校長先生の話の中で、長い間に培われた小学校文化と中学校文化のすりあわせがとてもたいへんだったという話が特に印象に残りました。義務教育学校として立ち上げる前に、小中一貫校として何年にもわたって話し合いを繰り返し、地域の意見を聞きながら一つ一つ積み上げてきたというお話でした。やはり新たな学校文化を創ることは簡単ではないようです。見学を通して、小学校や中学校の抱える課題の解決の一つのヒントを与えてくれるのが「義務教育学校」であるという感想を持ちました。工夫次第では山梨県でも、義務教育学校の良い部分を活かした新しい学校ができる可能性があると感じました。これからの山梨県での取組に期待したいです。

## 子育て支援リーダー実力アップ講座

県教育庁社会教育課

山梨県では、貧困など困難を抱える家庭や子育て中の親の不安を解消し、地域での子育てや家庭教育の支援活動を積極的に推進できる人材を確保するために、「子育て支援リーダー実力アップ講座」を開催しました。講座の内容は『子どもの貧困対策推進計画』『DVも子ども虐待も見逃さない初動対応と連携支援』『子どもが育つ“根っこ”を考える』等多岐にわたり、講師もNHK「すくすく子育て」のアドバイザーでお馴染みの東京大学発達心理学の遠藤利彦教授をはじめ各分野の第一人者が招かれました。

第7回の講座では山梨県立大学の田中先生を講師にお迎えし、『自閉症スペクトラム/ADHD児の支援のポイント』という講義が行われました。その中で、新たな障害保健福祉施策を講ずるための関係法規、支援する側の「繋がり」の重要性、支援のポイント、保護者支援の重要性を参加者全員で共有しました。また最後の第9回では、日頃感じている子育て支援における課題を自分たちで見つけ発表する「班別自主研究発表会」が開かれ、お互いの考えを学び合いました。



## 中学生 交通・防犯弁論大会

笛吹警察署・日下部警察署

笛吹警察署は8月30日(火)に春日居アグリステーションにおいて、また日下部警察署は9月2日(金)に山梨南中学校において交通・防犯弁論大会を開催しました。交通弁論は、中学生の目線で交通安全の問題を考え、社会に対して交通事故防止の大切さを訴えているか、防犯弁論では、少年の非行防止に関する自覚を促し、防犯思想の高揚に資する内容になっているかなどが審査されました。最優秀のみお知らせしますが、参加生徒全員素晴らしい発表をしてくれました。

	交通弁論の部	防犯弁論の部
笛吹警察署管内	春日居中学校3年 藤原さん 「今、私たちに出来ること」	春日居中学校2年 片倉さん 「いじっているだけ？」
日下部警察署管内	塩山中学校3年 村田さん 「想像力をはたらかせて」	山梨北中学校3年 古屋さん 「勇気と思いやり」



## 県立学校 出前授業

笛川中学校

笛川中学校では近隣の日川高校・山梨高校・塩山高校・産業技術短期大学から講師を招く「出前授業」を実施しました。

取材にお邪魔したのは、9月27日(火)と10月28日(金)。

9月27日は日川高校の2人の先生が3年生を対象に授業を行いました。1人は数学の山浦先生。笛川中学校の卒業生である山浦先生は、総合的な学習の時間として、「中学時代の経験」「オリンピック選手の共通点」から今の中学3年生に考えて欲しいことを話しました。もう1人は英語の萩原先生。「英字新聞を読んでみよう」という内容の授業をAll In English(あいさつ・説明等全てを英語)で行いました。生徒は新聞ならではの表記に戸惑いながらも、友だちと相談しながら積極的に取り組んでいました。

10月28日は産業技術短期大学の清水先生が、1・2年生を対象に『3Dプリンターってなに?』という授業を行いました。生徒は時代の先端技術の仕組みを学び、実際に3Dプリンターによって作品ができあがる工程を食い入るように見ていました。



## ～笑顔満祭 30人の絆～

県立ろう学校

肌寒い10月1日(土)、県立ろう学校では「～笑顔満祭 30人の絆～」をテーマに、第29回笛吹祭が行われました。運動会と隔年で開催している学園祭ですが、今年度は笛吹祭(文化祭)でした。支援教育部・幼稚部・小学部・中学部・高等部の幼児・児童・生徒が工夫を凝らした衣装・舞台装飾で、発達段階に合わせた演劇を発表しました。

支援教育部…オオカミから逃げられて良かったなあ。

幼稚部…うらしまたろうが主役だけど、亀がとっても可愛くて印象的。

小学部…7人の児童が1人2役をこなしながら、素晴らしい発表でした。

中学部…自分の思いを川柳に乗せ、見ている人にメッセージがしっかり伝わる劇でした。

高等部…まさかプレゼントの中に秘密が隠れているとは…、さすが高校生。チームワーク最高!



## 小学校入学を控えた保護者の学習会

峡東地域内小学校

峡東地域内の各小学校では、今年度も入学予定園児の就学時健診に合わせて、保護者対象学習会を実施しました。人格形成に大きな影響を与える小学校生活を有意義に送るために必要な話が、『生活習慣と学習の準備』『安全』『親子のコミュニケーション』『他の子どもたちとの関わりと学校との協力』などというポイントから話されました。参加した保護者は、メモを取り、時折大きく肯きながら講師の話を聞いていました。



## やまなし少年海洋道中

県教育庁社会教育課

八丈島という豊かな自然の中でさまざまな体験活動を通し、友情・連帯・奉仕の精神を育てるとともに、地域リーダーとしての資質向上を図ることを目的とした、『フロンティア・アドベンチャー「やまなし少年海洋道中」』が今年も開催されました。峡東地区からは8名の中学生が参加しました。事前説明会・事前研修会・事後研修会を含め13日間の活動で、キャンプ設営・野外炊飯・スノーケリング・サバイバル踏破・地域交流などを体験しました。事後アンケートの分析より、「生きる力」「心理的社会的能力」「徳育的能力」「身体的能力」の全てにおいて、プラスの変化が見受けられました。

<参加生徒の感想：抜粋>

家で机に向かうだけの勉強とは全く別の「学び」の中から、友だち・家族の大切さ、海の厳しさ・美しさを学ぶことができました。

辛い時・悲しい時に傍にいて支えてくれた仲間と出会えました。

<参加生徒の保護者の感想：抜粋>

最初の頃の不安そうな顔はどこかへ行ってしまいました。やればできる…ということを学んだようです。人は、一人では生きていけないことを知り、協力し合うことの大切さを学んだと思います。



## 笛吹市PTA研修会

## 笛吹市PTA連合会

笛吹市PTA連合会では、毎年、市内PTA会員、児童・生徒、一般市民を対象に研修会を行っています。本年度は、10月8日（土）、いちのみや桃の里ふれあい文化館において「いのちの大切さ ～震災から学ぶ～」をテーマに、映画「ふしぎな石」が上映されました。



この映画は、東日本大震災で被災した宮城県名取市関上の4人の小学生が、「津波のことを伝えたい」「命の大切さを表現したい」と自ら出演を希望したもので、「あの日、何が起きたのか」「人々はどう感じ、今を生きているのか」子どもたちと一緒に考え、伝えられる内容になっています。

会場に集まった約130名の参加者からは、「命の大切さを改めて痛感しました。生きていることの重みを考えさせられる内容でした。」「震災で亡くなられた方や残された家族の思いが無駄にならないように、当たり前ではない日常を大切に生きていかなければならないと思いました。」「自分の子にも、当たり前の様に過ぎる毎日の生活に改めて感謝する気持ちを持ってほしいし、何かできることに積極的にチャレンジしてほしいと思いました。」などの感想が寄せられました。

## あつまれ！ちびっこハッピーランド

## 山梨市子育て支援課

山梨市では、9月30日（金）に山梨市民総合体育館において、NPO法人すてっぷあっぷるの皆さんを講師に迎え、保育園・幼稚園に入園前のお子さんと保護者を対象に、『あつまれ！ちびっこハッピーランド』を開催しました。当日は市の保健師・保育サポート「どんぐり」の皆さんや山梨大学医学部看護学科1年生もサポートに加わり、100名ほどの参加者が、音楽に合わせて身体を動かしたり、手遊びをしたりしながらスキンシップを深めました。子どもたちも広い武道館を自由に走り回ったり、保護者が引っ張る車に乗ったりして、元気いっぱい遊びました。



## 図書館活動

## 笛吹市内図書館

10月8日（土）、春日居図書館では『おりがみでハロウィーン』を開催しました。あいにく近隣の保育園や学校などの運動会が天候の関係で日程変更されたため、参加したのは園児児童5人と保護者2人で例年より少なめでしたが、パンプキンなどが飾り付けされた会場で、読み手と聞き手が一体となった読書会や工作教室が行われました。工作教室では、子どもたちはお父さんやお母さん、凝った衣装を身にまとった図書館の職員に教わりながら、ランタンや魔女づくりに一生懸命取り組んでいました。楽しい時間を過ごした参加者は、春日居図書館独自のポイントカードにシールを貼ってもらって帰路につきました。

また12日（水）、八代図書館では『赤ちゃんとお母さんのおはなし会』を開催しました。図書館の職員による絵本の読み聞かせや、お母さんが赤ちゃんに読み聞かせをする時のスキンシップの取り方などの説明がありました。また八代図書館では、この会に初めて参加するお母さんと赤ちゃんの手形を記念に取り、図書館内に掲示しています。赤ちゃんが大きくなってお母さんと再び図書館を訪ねた時、自分の成長を改めて実感するでしょう。



# お年寄りとのふれあい集会

大藤小学校

大藤小学校では10月21日（金）、地域のお年寄りを学校に招く「お年寄りとのふれあい集会」を実施し、24名のお年寄りが参加しました。参加者は4つのグループに分かれ、自己紹介をした後、『お手玉』『コマ回し』『あやとり』『けん玉』などをして交流を深めました。参加したお年寄りは『はないちもんめ』でうっすらと汗をかき、『とても楽しい。昔はこういう時間がたくさんあったのに…。このような集会は嬉しい』と話していました。90分ほど交流した後、学校で収穫したお芋をみんなで食べたり、児童の音楽発表を聞いたり「ふるさと」を一緒に歌ったりして、とても豊かな時間になりました。



## 管内中学校新人大会（笛吹・東山梨）結果ダイジェスト

笛吹市中学校新人大会・東山梨中学校新人大会が10月5日（水）・8日（土）に開催されました。台風の影響が心配されましたが、各会場では3年生からバトンを引き継いだ1・2年生の熱戦が繰り広げられました。各種目上位入賞校は、11月に行われる県中学校新人大会への出場権を獲得しました。各種目団体戦の優勝校は次のとおりです。なお、個人戦の結果につきましては、掲載は控えさせていただきました。

### ◆ 笛吹市の優勝校 ◆

### ◆ 東山梨の優勝校 ◆

野 球	春日居中
サッカー	石和中
ソフトボール	浅川・石和中
バスケットボール	男子 石和中 女子 浅川中
バレーボール	男子 一宮中 女子 石和中
卓 球	男子 春日居中 女子 浅川中
ソフトテニス	男子 浅川中 女子 石和中
剣 道	男子 春日居中 女子 一宮中
柔 道	男子 石和中
弓 道	男子 石和中B 女子 石和中A
体 操	女子個人総合 石和中

野 球 (Aパート)	山梨北中
(Bパート)	山梨南中
サッカー	山梨北中
ソフトボール	山梨北中
バスケットボール	男子 山梨南中 女子 山梨北中
バレーボール	男子 山梨南中 女子 山梨南中
ハンドボール	男子 山梨南中 女子 塩山中
卓 球	男子 塩山中 女子 松里中
ソフトテニス	男子 山梨北中 女子 山梨南中
剣 道	男子 勝沼中 女子 塩山中
柔 道	男子 塩山中A





# 山梨県立日川高等学校

スーパーサイエンスハイスクール (SSH) 指定校

<http://www.hikawa.kai.ed.jp/>

## TO CULTIVATE YOUR OWN MIND

創立期に初代校長が掲げたこの建学の精神が脈々と受け継がれている日川高校では、校訓に『質実剛毅』を掲げ、文武両道の実践を軸に、生徒一人ひとりの個性や可能性を最大限に伸ばし、地域を愛し、世界的な視野を持って人々の幸福と社会の発展に寄与し、社会のリーダーとしての役割を果たすことのできる人間の育成を目指しています。

今年4月に創立115周年を迎えた日川高校は、明るく、清々しいキャンパスで、魅力ある「新しい」学校づくりを目指して、常に成長を求め、創造性に富む若い力を求めています。



○新設された自習室○

## 素晴らしい 学習環境

○国際教育の一環として、イギリスKLBスクールと毎年、相互に約2週間の姉妹校交流を行っています。

○独自の奨学金制度○  
「日川奨学生」  
「赤尾奨学生」  
「山岡サイエンス特待生」  
の奨学金制度があります。



○今年も大勢の仲間が全国大会に出場し、優秀な成績を収めています。

## 文武両道の 深化・進化

○心身を錬磨し、たくましい身体と精神力の育成を目指しています。



第49回強歩大会

## 質の高い 授業

○単位制の特色を生かし多様で魅力ある授業が行われています。  
○SSH指定校として、論理的思考力、創造性や独創性等の高揚を目指し、優れた社会性、国際性を備えた次世代を担う科学者や技術者を育成します。



スーパーカミオカンデ見学